

尿道・膀胱鏡検査

原泌尿器科病院 看護部長 稲田 初穂

① 尿道・膀胱鏡検査とは

経尿道的（尿道から）に内視鏡を挿入し、尿道・膀胱・前立腺を観察する検査です。

当院では、軟性膀胱鏡 CCD カメラを装着した軟性のビデオスコープを使用しています。

ビデオカメラ装置により大きな画面で医師が内視鏡画面を観察でき、プリント・デジタル信号が可能で、患者さんも直接見え説明を行いやすい検査です。



② 目的

血尿や尿路感染症（膀胱炎など）、尿失禁、排尿障害、頻尿などの原因を詳しく調べるために行います。

尿道・膀胱内の炎症や腫瘍、結石などの病変を確認できます。

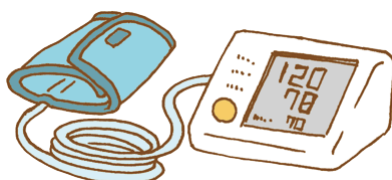
また定期検査として、膀胱腫瘍手術後などに再発や早期発見のために行います。

③ 合併症

感染、発熱、疼痛、麻酔薬（ゼリー麻酔）に対するアレルギー、血尿、尿道損傷などがあります。検査後は数日間、血尿や残尿感、排尿時痛、頻尿などがありますが、徐々に軽減します。

<検査の流れ>

- 1) 看護師が説明を行います。
- 2) 内視鏡室で下着、ズボンなどを脱ぎバスタオルを腰に巻き、検査用のベッドに横になります。
- 3) 血圧を測定し、男性の場合はキシロカインゼリーを尿道に注入し、10分間時間をおきます。女性はカメラ挿入時にゼリーを使用します。
- 4) 尿道口から軟性膀胱鏡を挿入。男性の場合は前立腺部が狭く痛未を伴いやすいため挿入時は力を抜くため、ゆっくりと大きな呼吸を行います。
膀胱内は生理食塩水で膨らませたり、吸引しながら観察し画像撮影を行います。
- 5) 清拭し、終了となります。
男性は陰部にガーゼを巻き、排尿時に除去します
(自然とゼリーが流れ下着につくため)



<検査後の注意事項>

- 検査後は少し血尿が出る場合がありますので、水分摂取を心掛け、尿をよくするようにします（また、膀胱炎予防のため抗生物質を処方する場合があります）
- 入浴は出来ませんが、当日は長く入浴することで循環が促進し、出血する場合があります。
- 検査後は男性は陰部にガーゼを巻いています。排尿時、ガーゼを外してから排尿しガーゼをトイレに流さないで下さい。
- 飲酒は出血しやすくなりますので、当日は止めてください。
- 日常生活（食事に関しても）は問題ありませんが、激しい運動に関しては当日は止めてください。

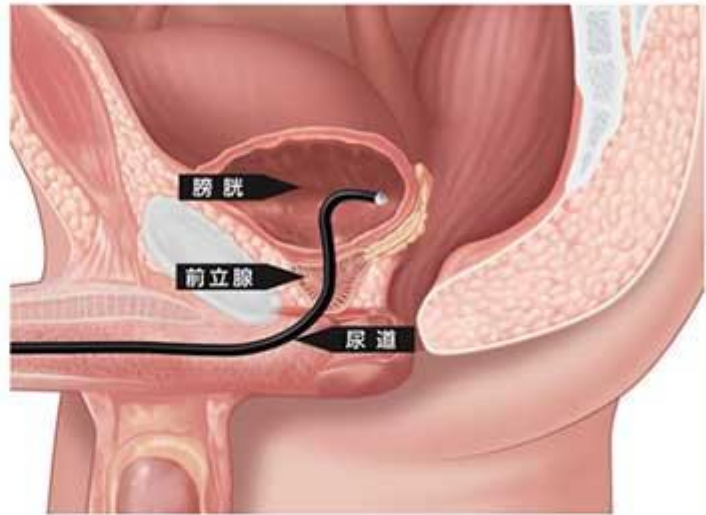
※検査後、皆さん2~3日間、血尿、排尿痛の痛み、頻尿、残尿感、発熱などが起こる事がありますが、徐々に良くなります。

しかし、改善せずに症状が強くなる場合（37.5℃以上の発熱など）がありましたら、病院へご連絡下さい。



軟性鏡で優しい膀胱鏡検査

最新の軟性鏡を使った検査なら「痛み」「違和感」の大幅な低減が期待されます



尿道は細い管状の器官であり、滑らかなカーブを描いて膀胱へとつながっています。細く、そして柔らかな材質の軟性膀胱鏡は、尿道のこのカーブに自然にフィットし、先端部も挿入しやすい滑らかな形状をしています。これにより、検査時の痛みや違和感の大幅な低減が期待されます。また、軟性膀胱鏡はドクターにとっても使いやすいため、検査時間の短縮も期待されます。

柔らかく滑らかな挿入性

当院では、膀胱鏡検査を軟性鏡で行っています。詳しくは担当医までお問い合わせください。